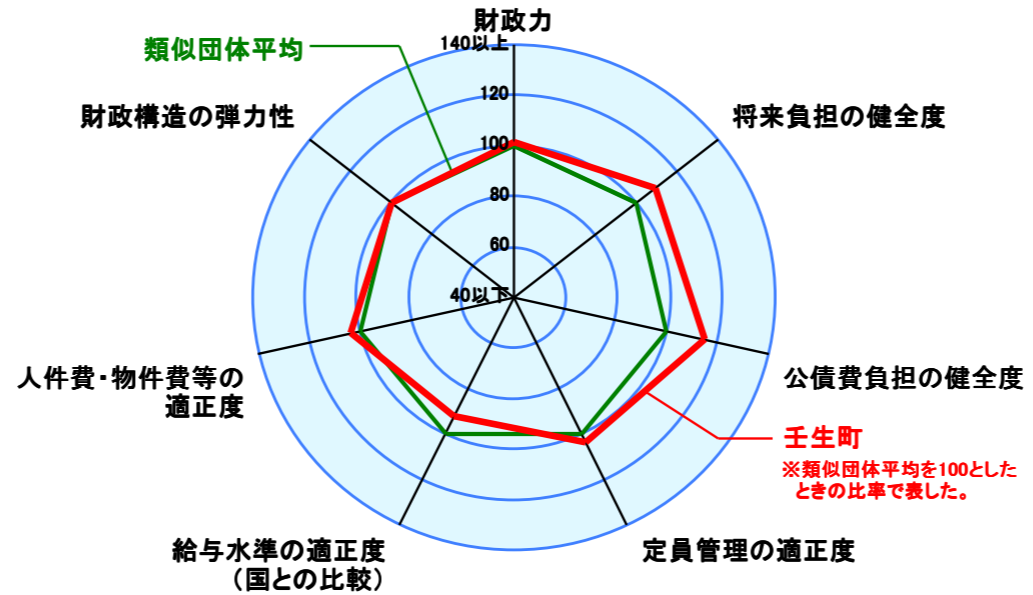
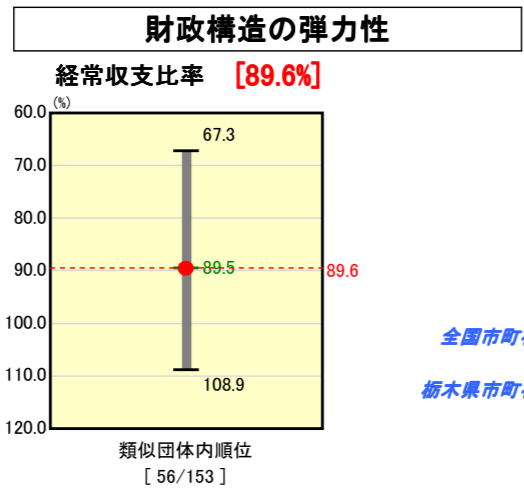
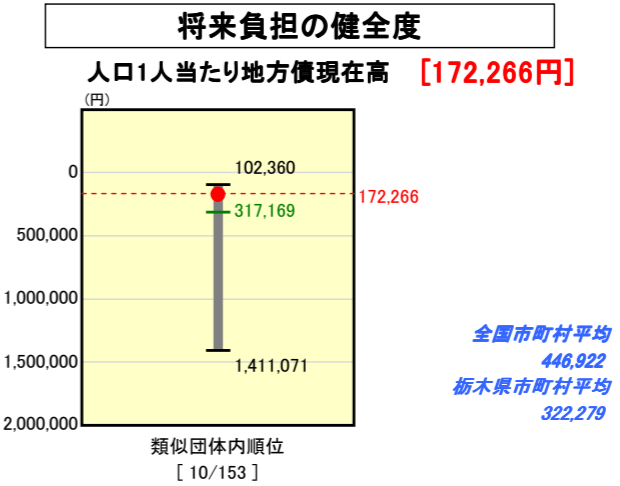
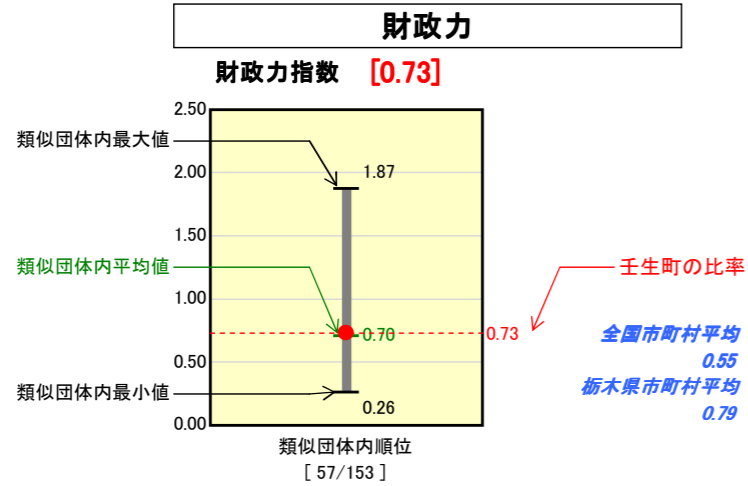


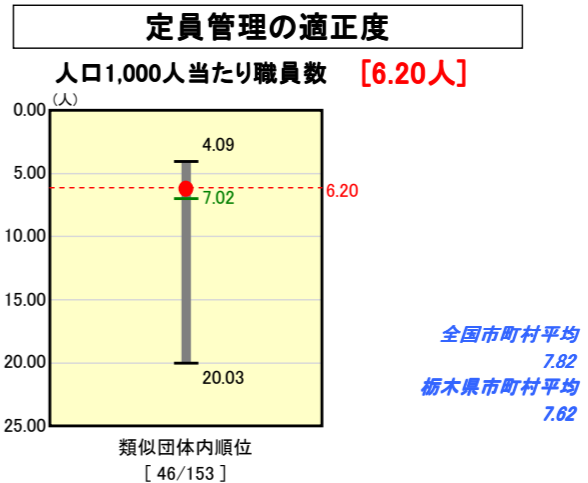
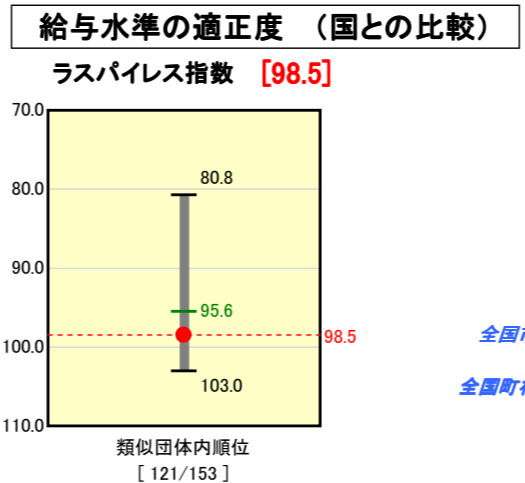
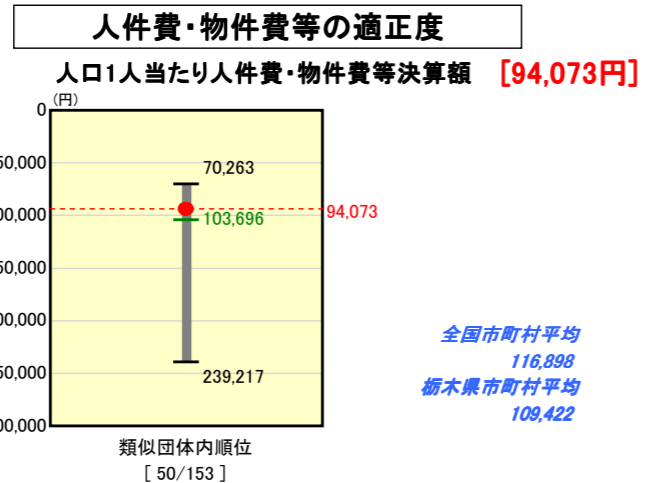
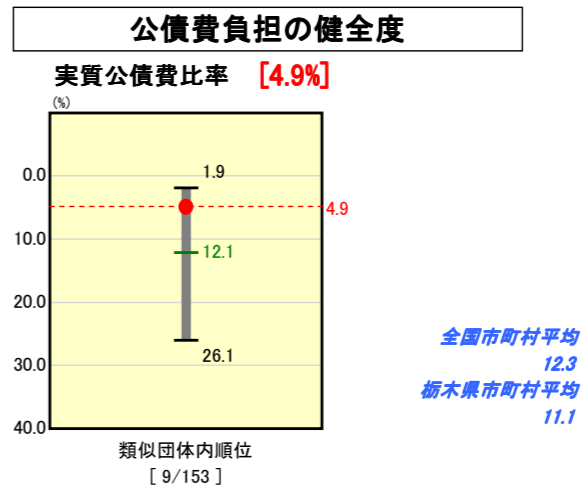
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 壬生町

人口	39,669 人	(H20.3.31現在)
面積	61.08 km ²	
歳入総額	11,116,463 千円	
歳出総額	10,648,715 千円	
実質収支	406,286 千円	



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数
類似団体平均値を0.03ポイント上回る数値である。これは人件費をはじめとした経費の徹底した削減によるところが大きい。今後とも一層の歳出削減を図りながら、徴収強化による町税等自主財源の確保に努めていく。
- 経常収支比率
類似団体平均値を0.1ポイント上回る数値である。これは、物件費及び扶助費が類似団体平均値を上回っていることや、下水道会計への繰出金が高いことが要因である。今後は下水道使用料の値上げも視野に入れ、繰出金の削減を図る。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均値に比較して9,623円負担は少ない。これは継続的に行っている人件費の削減等によるものである。人件費の決算額は類似団体平均と比較して8,367円低くなっており、これまでの定員管理が適正に行われてきたことを示している。しかしながら物件費については平均を上回っており、今後は経常経費の削減を図りさらなる負担軽減に努める。
- ラスパイレス指数
類似団体平均値を2.9ポイント上回る数値である。平成21年度からは下水道施設の運転管理業務従事職員の特殊勤務手当及びじん芥収集及び処理職員の特殊勤務手当を廃止する。また、人事評価制度の導入により職務・職責に応じた給与制度の運用を図り、給与制度及びその運用の一層の適正化に努めていく。
- 人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均値に比較して144,903円負担は少ない。類似団体平均を大きく下回る良好な数値である。本年度はまちづくり交付金事業に伴う新規発行債が増大することが危惧されていたが、平成18年度に比較しても住民1人当たり5,726円の負担減となった。今後も水準を維持するよう努める。
- 実質公債費比率
類似団体平均値を7.2ポイント下回る非常に良好な数値であり、県内では最も低い数値である。今後とも町債発行事業を峻別し、町債に過度に依存することのない財政運営に努める。
- 人口1,000人当たり職員数
類似団体平均を0.82人下回る数値で、これまでの定員管理が適正であったことを示すものである。今後も集中改革プランに基づき(平成18年4月1日から平成22年4月1日まで)に14名の職員削減、より一層の定員管理適正化を図る。